

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和5年度 岩手県における取組関係資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

2024年2月5日

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

（１）今年度の企画（実践の場）全体概要

タイトル		企画から訪問まで、「行きたい！」「会いたい！」を実現する 三陸沿岸を訪れ、復興の姿を知る“ 三陸沿岸学び旅・交流プログラム ”
企画趣旨		・震災から12年が経過する中、震災後、復興道路・復興支援道路の全線開通による交通の利便性の向上により、内陸部から沿岸部へと訪れるための時間は減少したものの、震災後にあった内陸部から沿岸部への支援や交流が徐々に減少している。また、震災から12年間経過する中での、特に若年層においては震災の記憶が風化してきている状況にある。 ・こうした状況を踏まえ、今一度、岩手県の内陸部の学生・若者に三陸沿岸の復興の姿や魅力を知っていただくため、学生・若者自身に、三陸沿岸の事業者とも協議しながら、オリジナルの三陸沿岸ツアーを考えていただき、実際に三陸沿岸部に訪問いただく取組を実施する。
参加者		岩手県内外の若者（大学生・社会人）7名
企画内容	事前のワークショップ	・若者にオリジナルの三陸沿岸ツアーを考えていただくワークショップを開催 開催日：10/14（土）13時～15時 場所：若者カフェ（盛岡市内）
	ツアー当日	・11/25（土）・26（日）に1泊2日のオリジナルの三陸沿岸ツアーを開催 ・各ツアーの最終訪問先は沿岸各地の若者カフェの連携拠点（久慈、宮古、陸前高田）の協力により設定 ・行程の最後に各地からのオンラインで、参加者・現地事業者・交流人口創出等に係る外部有識者を交えて約1時間半の全体の振り返りMTGを開催

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

（2）参加者募集

- 8/22～10/6の約1か月半に渡って参加者募集
- 当初の企画では岩手県内の若者をターゲットと
していたが、参加者の応募状況を踏まえ、事務局
より、**他県の副代表団体にも周知を依頼**。
- 結果、以下のメンバーが参加。
 - ・ 県内大学生（岩手大学）1名、
 - ・ 県内社会人3名、
 - ・ 県外大学生（東北大学）3名

復興から12年が経ち、被災の記憶がまだ鮮明な世代は徐々に減りつつあるなか、復興庁が事業として取り組んでいる「三陸沿岸の復興を学ぶ」が、岩手県での取組として、岩手県内の学生・若者に三陸沿岸の復興の姿を知ってもらうための企画として、三陸沿岸を訪れ復興の姿を知るツアー・プログラムを実施します。

参加募集!

企画概要

本プログラムは、岩手県内の学生・若者対象に、三陸沿岸の復興の姿を知ってもらうことが目的で、オリエンタル三陸沿岸ツアーを開催します。東京に1泊2日の行程で三陸沿岸を訪れ、復興の姿を知ることができ、自国で関心のある分野へ訪問するツアーを企画し、三陸沿岸の復興の姿を知る貴重な機会と捉えています。ぜひ応募ください。

1. 参加対象者
岩手県内が希望（大学生・社会人）15名程度

2. 実施内容（2泊3日以内で実施します）

① 事前ワークショップ
・開催日：10月14日（土）13時～15時（予定）
・開催場所：いわて畜産フェア（岩手県宮内市中央11-2岩手県立中央地下）
・ワークショップ内容：
企業経営の現状／対話型ワークショップ／訪問先の手配／ツアー行程の検討など
※ 本ワークショップにおいて、ツアープログラムの具体的な内容が決定します。
※ 事前ワークショップの終了後、事務局のサポートのもと、各訪問先の手配と訪問先の手配などを行い、最終的にオンラインでプログラム全体の調整を行います。

② ツアー・プログラム
・開催日：11月25日（土）・26日（日）（1泊2日）
・開催エリア：岩手県久慈市、岩手県宮内市、岩手県陸奥市
※ 各訪問先の手配は、ツアー・プログラムの内容に合わせて行われます。
※ 行先の調整は、各訪問先の手配と調整が行われます。各訪問先の手配は、各訪問先の手配と調整が行われます。
※ ツアー・プログラムの本番は、各訪問先の手配と調整が行われます。

③ 応募方法
○ 下記URLまたはQRコードより応募。必要事項を記入の上で応募ください。
<https://q.esk.jp/cvB0C78T>

④ 応募締め切り 10月6日（金）中

⑤ 問い合わせ先 「新しん文化」広報推進推進協議会事務局
Mail: newshinko@nshinko.jp
Tel: 03-62760-1222（受付時間：9:30～17:30 土日祝日除く）

① 事前ワークショップ
10月14日（土）

② ツアー・プログラム
11月25日（土）
～26日（日）

※本企画は「新しん文化」広報推進推進協議会（岩手県、岩手大学、岩手県庁、いわて復興復興センター及び復興庁）が企画するもので、協議会については下記URLをご覧ください。
○（主催）「新しん文化」 <https://www.newshinko.or.jp/kyosaku/main/saiki/saiki-11/kyosaku-main-shinko.html>
○「新しん文化」広報推進推進協議会HP <https://www.newshinko.or.jp/>

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

（３）事前ワークショップ

開催日：10/14（土）13時～15時

場所：いわて若者カフェ（盛岡市内）

- 以下3エリアについて、それぞれのエリアの現地コーディネーターから紹介。

久慈エリア：久慈広域観光協議会 貫牛氏

宮古・釜石エリア：（一社）浄土日和 松下氏

大船渡・陸前高田エリア：（一社）トナリノ 山本氏

- 3チームに分かれ、行程組みを実施。
さらに、ワークショップ終了後、参加者と現地事業者との間でオンラインミーティングを開催。体験コンテンツ等の調整を行い、行程を確定。

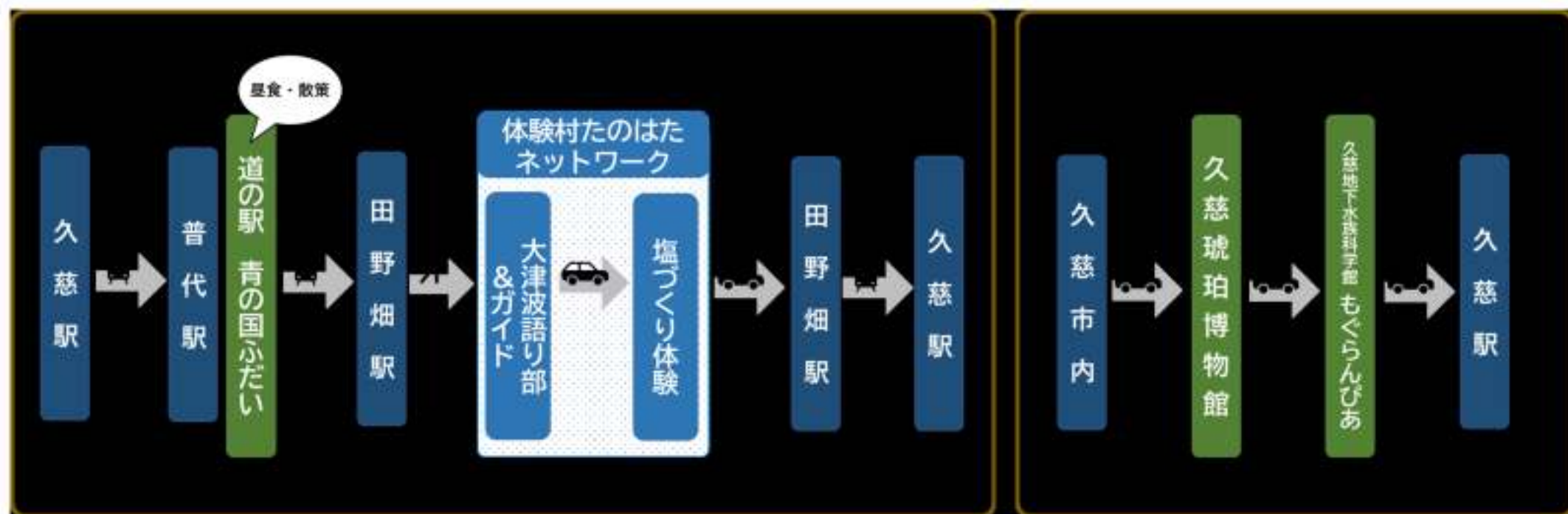


● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

（４）ツアー当日

久慈エリア

参加者：県外大学生１名、県内社会人２名



● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

久慈エリア

11/25（土）

10:39 久慈駅 三陸鉄道リアス線 → 普代駅

昼食・散策 道の駅 青の国ふだい (11:25~13:00)

- ・ 地域おこし協力隊の中村さんが、ご自身で作られた野菜などをアビーロード商店街で販売されているところに遭遇
- ・ そのお野菜で作った豚汁をいただきながら、有機農業の取組や農業法人設立にチャレンジされているお話などを伺う



見学・体験① 体験村たのはたネットワーク (13:30~17:00)
大津波語り部&ガイド/塩づくり体験

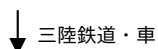
【津波語り部】

- ・ 震災前と直後、そして現状の街並みの変化や、震災当時の様子を解説
- ・ 杜氏の状況などを写真と共に街を歩きながら詳しく教えていた



【たのはた・塩づくり体験】

- ・ 番屋の塩作りの歴史から作成方法まで説明を聞く
- ・ 海水を煮詰めるための薪割りから、塩を乾燥させる工程まで体験
- ・ 一般的な食塩との味比べも面白かった



宿泊 : 市内ホテル（夕食：市内飲食店）

11/26（日）



見学・体験② 久慈琥珀博物館 (9:00~10:00)

- ・ 久慈琥珀博物館では琥珀の歴史や久慈琥珀の希少性を学ぶ
- ・ 世界唯一の見学用琥珀坑道跡を見学
- ・ 実際の採掘作業を体験



見学・体験③ 久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ (10:30~12:00)

- ・ もぐらんぴあでは宇部館長よりご案内いただく
- ・ 震災当時の状況、その後の復興にあたってはさかなくんをはじめ、多くの方の支援があったこと、再建には震災の教訓が活かされていること等について詳しく説明をいただく
- ・ 南部ダイバーの実演も見学

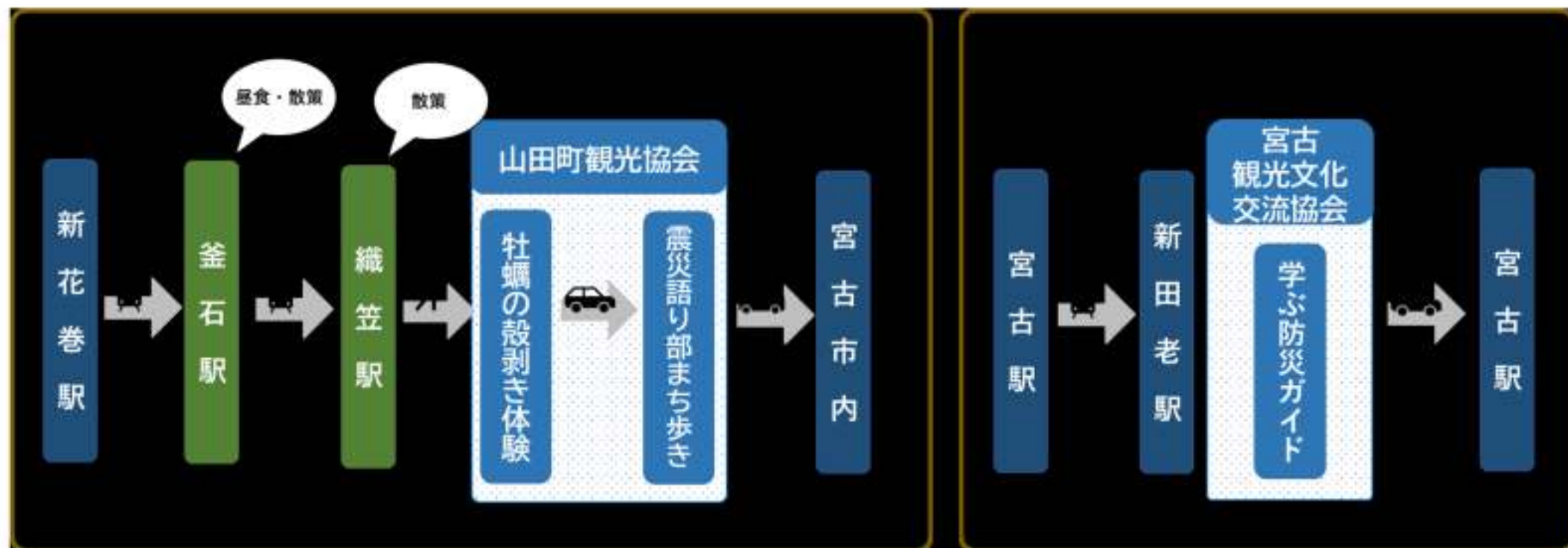


※ 紫枠の事業者とは事前にオンラインミーティングを実施

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

宮古・釜石エリア

参加者：県外大学生2名



● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

宮古・釜石エリア

11/25（土）

8:00 仙台駅 新幹線 → 新花巻駅 釜石線 → 釜石駅

昼食・散策 釜石駅周辺

(11:00~12:00)

- 釜石駅より釜石漁港・防波堤付近を散策し、震災による津波が押し寄せた様子を改めて見学
- 釜石の炭鉱労働者たちが好んだ「釜石ラーメン」で昼食



↓ 三陸鉄道リアス線

訪問・体験① 山田町観光協会・牡蠣の殻剥き体験

(13:20~17:35)

- 折笠駅→折笠漁港の道中で映画「すずめの戸締まり」のモデル地を見学(聖地巡礼)
- 荒天のため、漁港内施設にて牡蠣の殻剥き体験、試食
- 漁師の方から震災時の体験談をお話してもらう (オリジナルコンテンツ)



↓ 車

訪問・体験② 山田町観光協会・震災語り部まち歩き

(14:40~15:30)

- 新生やまだ商店街の方と山田町内を巡り、震災当時の被害状況、復興の道のりを見学
- 山田町として掲げる「津波による犠牲者を一人も出さない」町づくりのいきさつを伝承施設において資料や映像を通して学ぶ



宿泊 : 市内ホテル (夕食: 市内飲食店)

11/26（日）

↓ 三陸鉄道リアス線

見学・体験③ 田老学ぶ防災ガイド

(9:00~10:00)

- 宮古観光文化協会の鈴木氏のガイドで田老駅周辺の被災地を巡る
- 被災当時の状況や復興の様子を聞きながら現在の様子を見学
- 防潮堤などで津波が到達した高さを目の当たりにし、最後はたろう観光ホテルにて、被災当時の貴重な映像を視聴

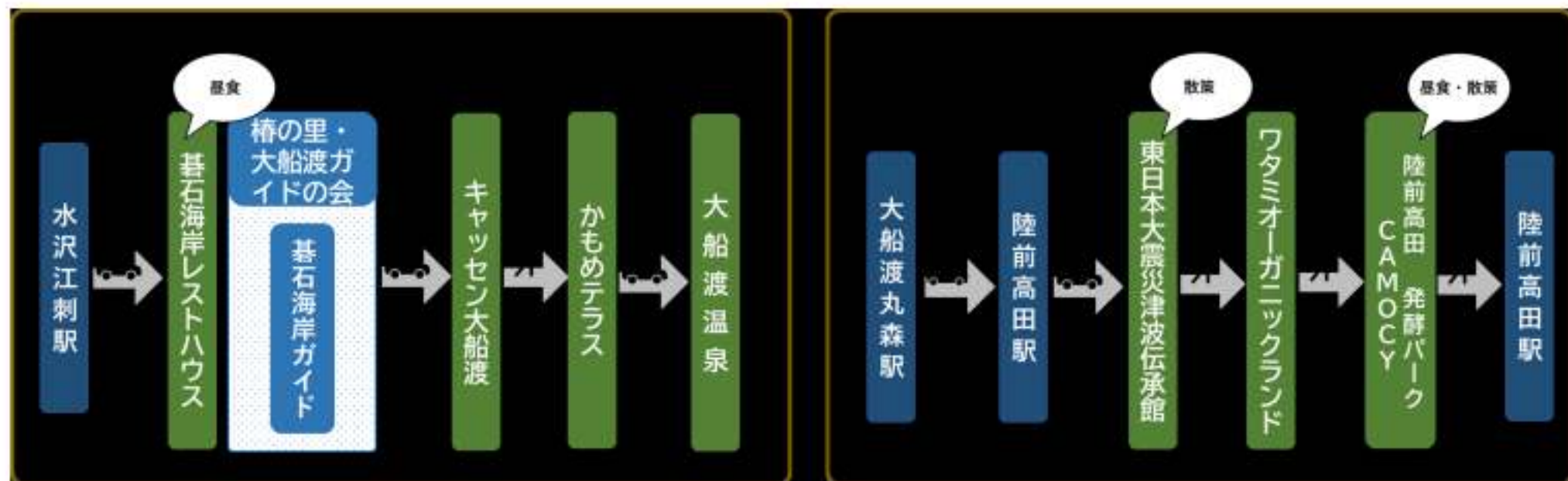


※ 紫枠の事業者とは事前にオンラインミーティングを実施

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

大船渡・陸前高田エリア

参加者：県内大学生1名、県外大学生1名



● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

大船渡・陸前高田エリア

11/25（土）

10:08 盛岡駅 新幹線 水沢江刺駅 車 基石海岸レストハウス

訪問・体験① 大船渡ガイドの会・基石海岸ガイド (13:30~14:30)

- 大船渡まちなかガイド会の方に基石海岸海岸をご案内頂く
- 基石のような礫が積み重なった基石海岸や、ジオパークにも指定されている複雑な地形を構成している自然のチカラを見学



訪問・体験② キャッセン大船渡/かもめテラス (15:30~17:35)

- まちづくりプロデューサーの千葉さんの講話
- 「防災×観光アドベンチャー」を実際に体験
- クリスマスの雰囲気デコレートされた「かもめテラス」では銘菓カモメのたまごの歴史や、佐々木朗希の偉業などを見学



訪問・体験③ 大船渡温泉社長から震災に関する講話 (18:30~19:00)

- 大船渡温泉にて志田社長の講話
- 「被災者や復興のために働く人たちをお風呂に入れてあげる『銭湯』が大船渡温泉の設立コンセプト」という社長の想いと情熱に胸を打たれる
- 「大船渡温泉が復興のシンボルと思って貰えるのがうれしい。大船渡の観光振興のお役に立ちたい」と志田社長



宿泊 : 大船渡温泉（夕食：キャッセン大船渡）

11/26（日）



訪問・体験④ 東日本大震災津波伝承館 (9:10~9:45)

- 高田松原津波復興記念公園内を散策「奇跡の一本松」を見学
- 町全体を飲み込んだ津波の破壊力を感じる
- 陸前高田大震災津波伝承館で被害の規模と復興の道のりを学習



訪問・体験⑤ ワタミオーガニックランド (10:00~10:30)

- ワタミオーガニックファームで、復興×農業の取組を学ぶ



訪問・体験⑥ 陸前高田 発酵パーク CAMOCY (11:00~13:30)

- カモシー阿部店長からカモシーの成り立ちとコンセプト、今後の展望について講話頂く
- 事前学習でひととおり学んだものの、次から次へと出てくる未来の構想のお話に驚嘆
- 「もはや復興のステージではない」という言葉の重みを感じる



※ 紫枠の事業者とは事前にオンラインミーティングを実施 9

● 今年度の岩手県での企画（実践の場）について

（５）振り返りミーティング

- 2日間の行程の最後には、参加者と協力いただいた現地コーディネーター・現地事業者、久慈市・宮古市・陸前高田市にある若者カフェの連携拠点等が集まっていたいただき、振り返りMTGを実施。
- 若者目線で得られた岩手沿岸部の魅力を現地コーディネーター・現地事業者、に直接フィードバックするとともに、外部有識者として（株）JTB総合研究所 主席研究員の吉口克利氏にも参加いただき「人的交流・地域の活性化」という観点から、講話・意見交換を実施。

	会場	現地側参加者
久慈エリア	OLDNEWユベントス	久慈広域観光協議会 貫牛氏 NANAMARUNI COFFEE オーナー 嵯峨氏 OLDNEWユベントス 山下氏
宮古・釜石エリア	ゲストハウス3710	（一社）浄土日和 松下氏 山田町役場 水産商工課 観光振興係 平澤氏 NPO法人みやっこベース 理事長 早川氏
大船渡・陸前高田エリア	コワーキングスペースヤドカリ	（一社）トナリノ 吉田氏

